

中学校美術科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	表現と鑑賞は密接に関係しており、表現活動の学習が鑑賞に生かされ、鑑賞活動の学習が表現に生かされて、一層充実した創造活動に高まっていくから。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	2	<ul style="list-style-type: none"> 美術の表現の能力が幅広く身に付くようにするため、特定の表現分野の活動のみに偏ることなく、「A表現」(1)及び(2)それぞれにおいて(3)と関連付けて、描く活動とつくる活動をいずれも扱うようにする。 ねらいとする資質や能力を育成するために必要となる画面の大きさや時間数などを十分に考えて題材を検討する。 学年の目標が実現されるように、比較的短時間ででき、効果的に表現の能力が身に付くような題材を適宜取り入れる。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
	第2学年及び第3学年	<ul style="list-style-type: none"> より質の高い学習を目指すため、一題材に時間をかけて指導する。 学習の内容が偏らないように、「A表現」の(1)及び(2)の双方を扱うようにする。 「A表現」全体を通して描く活動とつくる活動が一度は行われるようにする。 2学年間で「A表現」(1)及び(2)それぞれにおいて(3)と関連付けて、描く活動とつくる活動をいずれも扱うようにする。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
2	1	浮世絵は、当時人気だった役者や力士、風景、庶民の生活風俗などを版画や肉筆画で表現した風俗画の様式であり、人物画だけを表したものではない。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4
	2	<p>作品を見る視点を示し、比較する作品の相違と共通性に気付くことができる設問を設定する。</p> <p>生徒が円滑に学習を進められるような設問を設定する。</p>	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各6×2
	3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒作品をはじめ鑑賞用の図書資料や映像資料など様々なものを、美術室や校内、その他の適切な場所に展示したり備えたりするようにする。 美術室における作品展示の仕方に創意工夫を図るとともに、それ以外の場所として、玄関ホールや廊下、階段、空き教室などの壁面を活用してミニギャラリーを設ける。 校区にある幼稚園、保育園、小学校、高等学校、特別支援学校などの幼児児童生徒の作品、諸外国の幼児児童生徒作品など交流による校内展示を行う。 地域の美術館で開催中のポスター、チラシやワークショップの案内を、内容が分かるコメントを添えて展示する。 美術室の壁面を教師の思いを伝える掲示板とし、授業と関連する知識的なものや美術文化にまつわるクイズ、美術館の絵はがきなどを展示する。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各6×2

中学校美術科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点														
3	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを出させ言葉や文章で主題を書かせる。 ・イメージを口頭で語らせるなど会話で主題を聞き取る。 ・友だちの動きを見るなどして思いついたことから作品名を付けさせる。 	1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	6														
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土や木、石、紙のほかに金属やプラスチック、布あるいは廃品など様々な材料の生かし方や塑造や彫造など様々な表現方法があるので、使いたい材料や表したい方法を試してみよう。 ・つくりながら偶然にできた表現の効果をとらえて生かしてみよう。 ・これまで体験した材料や用具の特性を組み合わせてみよう。 ・あえて形を誇張し、素早い感じ、ダイナミックな感じなどを工夫しよう。 ・直立の状態、手、足、腰、首などを自由に動かして、動きをできるだけ大きく捉えてみよう。 ・スポーツなどをしている人の姿をスケッチしてみよう。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	各5×2 22														
	2	霧吹きで水を吹きつけたり、水で湿したタオルや雑巾などの布で作品を包んだりして、ビニル袋で包む。	内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。	6														
4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>次</th> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>課題の把握と鑑賞</td> <td>様々な椅子のデザインを提示したり椅子のデザインの変遷を鑑賞させたりする活動を基に、目的に応じて座る姿勢が違ふことによつてデザインや構造、材質や大きさなどが違ふことや現代社会に必要なデザインについて話し合わせる。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>表現の発想・構想</td> <td>構想を具体化させるため、企画書やアイデアスケッチなどに、使用する者の気持ちや機能、使用する場面、表現意図や思い、夢、美しさの効果的な表し方、材料の性質の生かし方などをまとめさせる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>制作</td> <td>構想を基に、材料の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現方法を工夫して制作させる。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>鑑賞</td> <td>お互いの完成作品を鑑賞させ、使われる場面や目的を考えたデザインをどのように表現しているのかという視点で批評し合うことにより、表現の工夫などを感じ取らせる。</td> </tr> </tbody> </table>	次	学習活動	指導上の留意事項	1	課題の把握と鑑賞	様々な椅子のデザインを提示したり椅子のデザインの変遷を鑑賞させたりする活動を基に、目的に応じて座る姿勢が違ふことによつてデザインや構造、材質や大きさなどが違ふことや現代社会に必要なデザインについて話し合わせる。	2	表現の発想・構想	構想を具体化させるため、企画書やアイデアスケッチなどに、使用する者の気持ちや機能、使用する場面、表現意図や思い、夢、美しさの効果的な表し方、材料の性質の生かし方などをまとめさせる。	3	制作	構想を基に、材料の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現方法を工夫して制作させる。	4	鑑賞	お互いの完成作品を鑑賞させ、使われる場面や目的を考えたデザインをどのように表現しているのかという視点で批評し合うことにより、表現の工夫などを感じ取らせる。	問いを正しくとらえていれば、内容は異な ってよい。	24
次	学習活動	指導上の留意事項																
1	課題の把握と鑑賞	様々な椅子のデザインを提示したり椅子のデザインの変遷を鑑賞させたりする活動を基に、目的に応じて座る姿勢が違ふことによつてデザインや構造、材質や大きさなどが違ふことや現代社会に必要なデザインについて話し合わせる。																
2	表現の発想・構想	構想を具体化させるため、企画書やアイデアスケッチなどに、使用する者の気持ちや機能、使用する場面、表現意図や思い、夢、美しさの効果的な表し方、材料の性質の生かし方などをまとめさせる。																
3	制作	構想を基に、材料の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現方法を工夫して制作させる。																
4	鑑賞	お互いの完成作品を鑑賞させ、使われる場面や目的を考えたデザインをどのように表現しているのかという視点で批評し合うことにより、表現の工夫などを感じ取らせる。																

中学校美術科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子供と大人では、頭と体の比率が違うこと。 ・頭部の大きさ、目や鼻の位置を把握すること。 ・人体の動きを大まかに捉え、人間の骨格を想像して描くこと。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各6×2
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・何をしているときに、一番その人らしいのかを考えさせるようにする。 ・表情やしぐさに注目したり、その人のイメージに合う形や色を使ったりして工夫させるようにする。 ・背景、衣装、小道具、動作などにより、その人の特徴や雰囲気を捉えさせるようにする。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各6×2
6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・木目や木肌の美しさを作品に生かすことができる。 ・手触りや肌触りが優しく柔らかい。 ・様々な種類があり使用目的に応じて選べる。 ・多様な製作方法が可能である。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各6×2
	2	次の工程を踏まえて、図と文で分かりやすくかいていること。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 板に切り抜く形を下がきする。 ○ 電動糸のこの刃を手前にしてびんと張った状態で、下向きになるように留める。 ○ 刃の後ろ側にあるストッパーで、板を軽く押さえる。 ○ スイッチを入れ、両手で板を押さえて自然に切れる速度でゆっくりと切り進む。 		各4×4
7	次の点に留意して描いていること。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 形を正確にとらえて表現していること。 ○ 鉛筆の濃淡によって立体感を表現していること。 ○ 鉛筆の濃淡によって質感を表現していること。 ○ 画面にバランスよく構成していること。 		各12×4	